

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 1 月 11 日作成)

小委員会名	都市地域エネルギーインフラ研究小委員会		主 査 名：吉田 聡 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (都市環境・都市設備運営委員会)		委員長名：岩田利枝 主 査 名：三坂育正
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2018 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	これまで日本建築学会の都市設備分野では、熱の地域的有効利用に重点が置かれ調査研究が行われてきた。しかし、スマートグリッドを代表として、熱だけでなく電力を都市・地域で有効に利用していくためのシステムの検討が進んでいる。そこで、本小委員会では、電力と熱両方を対象として、中長期的視点での都市・地域エネルギーインフラのあるべき姿の検討と実現のための課題整理を行う。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：吉田聡 (横浜国立大学) 幹事：小柳秀光 (大成建設)、中島裕輔 (工学院大学) 委員：原英嗣 (国土館大学) 下田吉之 (大阪大学)、村上公哉 (芝浦工業大学)、湯浅和博 (東京工業大学)、吉田友紀子 (大阪大学)、増田幸宏 (芝浦工業大学)、田中英紀 (名古屋大学)、堀英祐 (早稲田大学)、水潤亨 (清水建設)、島潔 (大林組)、田中規敏 (竹中工務店)、木原勇信 (鹿島建設)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2017 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	当初計画に沿って 5 回の委員会開催見込みである。また、その他に European Energy Award に関する勉強会 (主催：都市環境エネルギー協会) を後援し、まちづくりの中での地域エネルギーシステムのあり方やその評価方法などについて情報収集を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	なし

2017 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・**最終年度評価**)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>当初計画通り委員会は 5 回開催の見込みである。 その他に、4 月 24 日 (月) に European Energy Award に関する勉強会 (主催：都市環境エネルギー協会) を後援し、まちづくりの中での地域エネルギーシステムのあり方やその評価方法などについて情報収集・意見交換を行った。 本小委員会は本年度が最終年度であるが、第 3 回小委員会以降、本小委員会で議論した内容を整理したうえで、次年度からの新しい小委員会の企画を行うことが出来た。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。